

## 活動報告

団体名	学校法人 日本福祉大学災害ボランティアセンター
活動名	台風 19 号被災地域での泥等の除去および清掃活動
活動期間	2019/10/19~2019/10/27
活動の成果	<p>刻一刻と状況が変化する発災直後の被災地では臨機応変な対応を心がけることを第一の目標とした。また、今後の支援の在り方を考えるために被災地のニーズを知ることが第二の目標だった。活動を終えてみて、当日になって予定とは異なる活動をするなど想定通り臨機応変な対応が不可欠だった。原因として被災地の状況が変化し続けていることも挙げられるが、発災直後では被災地の正確な情報を事前に入手することが非常に困難なのも大きな要因だと思われた。その上でやはり現地に行って直接被災者に話を伺わなければ、支援内容のニーズは掴めないと感じた。実際に被災した家屋の清掃活動の際に、「タオルは何枚あっても足りない」という声を聞き、本活動後に美浜町社会福祉協議会と連携して寄付用にタオルの募集を呼びかけた。結果、全国から 500kg を超えるタオルが集まり、随時現地のボランティアセンター等に寄付を続けている。今後の予定として再度被災地の状況を伺うため、2020 年 2~3 月に現地訪問を予定している。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>私たち日本福祉大学災害ボランティアセンターは、東日本大震災や熊本地震の被災地支援活動を行った際にも、何度も赤い羽根共同募金の助成金をいただきました。そのおかげで、岩手県・宮城県・熊本県等の被災地へ赴き、現地での様々な支援活動を行うことができました。今回の台風 19 号被災地支援活動も、共同募金に多くの方々から寄せられたご寄付の一部を助成金としていただくことができたので、発災直後に被災地での支援活動を行うことができました。大学から遠隔地にある被災地で学生が活動するためには、高額になる交通費などの負担が壁になりますが、共同募金の助成金に助けられ、多くの学生が被災した方々に寄り添う支援が行えます。皆様が寄付に込めた被災した方々を助けたいというお気持ちを被災地に届けるつもりで活動してきました。感謝申し上げます。</p>

(活動のようす)

